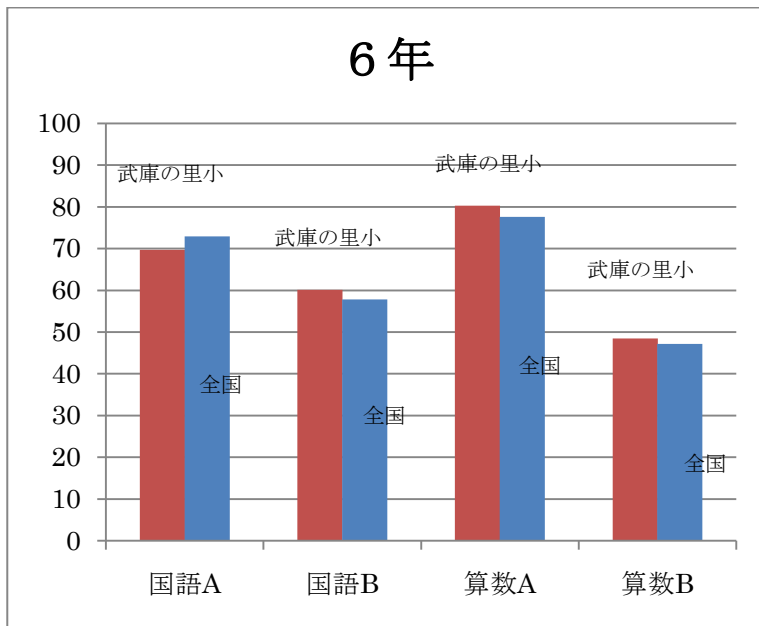


## さっつ子は算数が得意なの！？

### 平成28年度学力・学習調査結果より～



日ごとに、秋が深まってまいりました。保護者の皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、平成28年度の「全国学力・学習状況調査」の結果について、文部科学省より結果報告を受けましたのでお知らせ致します。

左の図でもわかるように、本校児童（6年生：92名）は国語科では、国語A（基礎知識）平均正答率69.7%で全国平均72.9%より少し劣っています。しかし、国語B（活用能力）では、平均正答率60.1%で全国平均57.8%より優れていると結果が出ています。これは、基礎知識を十分に応用力として発揮していることのあらわれで、今後なお一層の基礎基本の定着を図っていくことが大切です。

一方算数科を見ると、算数A（基礎知識）では平均正答率80.3%で全国平均77.6%より高く、また算数B（活用能力）でも平均正答率48.5%で全国平均47.2%より優れていると結果が出ています。

2つの教科をもう少し詳しく分析すると、国語科については、「話す聞く能力」・「言語」また、「書くことの能力」・「読む能力」はほとんど全国レベルに達しており、大きな差はありません。今後も一層国語の授業において、児童が興味関心を持てるような指導を心がけていきたいと思えます。

算数科については、量と測定（平均を求める計算や図形の面積を変えずに底辺を求める等）に関する事項について全国平均より8%ほど高く、洞察力が優れているようです。また、全体に数量関係や図形、計算問題等においてもミスは少なく、理解している割合が高いです。本校では数年来算数科の授業研究を行っており、児童の学力にも反映されているものであると考察されます。

さて、意識調査（児童質問紙）を考察すると、改善を要する項目（全国平均より差が大きい）では、「毎日同じ時間に寝起きしているか」の項目や「自分にはよいところがあるか」「将来の夢の有無」「ゲームをしている時間」「読書量」「自主的な学習」等が気になりました。今後は、問題点をさらに掘り下げ、教職員で検討後改善していきます。

また、全国平均より優れている項目では、「先生にわからないことを聞く児童」が多い事や「学校が好きな児童」が多いことまた、「いじめはぜったいだめと思っている児童」が多いことは大変よいことですね。素直な気持ちで毎日生活している、武庫里小の児童の様子がかがえます。

これからも、このようなデータを参考にしながら、学校と家庭が連絡を密に取り合い、子ども達を育て参りたいと思えます。ご協力の程よろしくお願い致します。

改善を要する項目	武庫里小	全国
毎日、同じ時刻に寝ている。	66.6%	80.1%
毎日、同じ時刻に起きている。	87.7%	90.8%
自分にはよいところがあると思う。	62.3%	76.3%
将来の夢や目標を持っている。	75.5%	85.3%
普段1日あたり3時間以上ゲームをしている。	24.5%	16.0%
学校の授業以外に、「読書」を1時間以上2時間ぐらいする。	11.1%	27.8%
家で自分で計画を立てて勉強している。	43.4%	62.2%

全国より優れた値を示している項目	武庫里小	全国
授業でわからないとき先生に聞く。	26.7%	25.0%
読書は好きだ。	78.9%	74.6%
学校の授業以外に1日2時間～3時間勉強する。	34.5%	25.5%
学校で友達に会うのは楽しい。	96.6%	96.2%
いじめはどんなことがあってもいけない。	84.4%	83.1%
ノートに学習の目当てなどを書いている。	70.0%	67.4%